

M S S A

一般社団法人 宮城県警備業協会
〒981-3105 仙台市泉区天神沢一丁目4番11号
Tel 022-371-0310 FAX 022-773-6466
info@mssa.jp
http://www.mssa.jp



令和6年4月10日

宮城県警備業協会 会員の皆様へ

「護身教室」が河北ウィークリーせんだい（4月4日発行）で紹介されました。（ご連絡）

協会の社会貢献事業として行っている「護身教室」の木村裕也護身指導員（有エkses）が、東北福祉大学の地域安心安全ボランティアTeam ZEROとともに取材を受けましたのでご連絡します。

河北ウィークリーせんだいの好意により皆様にご紹介します。



一般社団法人宮城県警備業協会
専務理事 高橋 直嗣

(15) 河北ウィークリーせんだい 2024.04.04 MS
駐車場 メールアドレス フレジット
WEBサイト X(Twitter) Instagram Facebook

Family 防犯・護身術

新年度の初めは、登下校や友達と遊びに行くなど、子どもたちだけで行動する機会が増える。知らない人に声をかけられたらどうするかなど、身を守るための行動を改めて確認しておきたい。子どもの防犯について、宮城県警備業協会委嘱講師（エkses所属）の木村裕也さんと東北福祉大学の地域安心安全ボランティア「Team ZERO」の松元直さん、宮野遊太さんにライターAと小学4年の息子が教えてもらった。

「どうする？」日頃から家族で確認を

護身術は、いざという時の最終手段。まずは子どもだけで人気のない場所に「近寄らない」、また「危険な目にあたらどうか」など、日頃から「の」らない「お」お声で叫ぶ、「す」く逃げる「おうちの人や大人に「し」らせる」「一人」で遊ばない「外出「前」に誰と、どこで何をするか、何時に帰るか話す」の文字を取ったもので、犯罪から子どもを守るための合言葉。他にも、

「『走っていきから車に乗って』と聞かれたらどうする?」「あつち猫がいるから見に行こう」と誘われたら?」など、具体例を出して、その時どう動けばいいか親子で一緒に考えておくといいそう。不審な行動の人、例えば「じろじろと見てくる」「必要以上に近づいてくる」といった人がいたら、「相手と距離を取り、決して目を合わせてはいけません」と木村さんはアドバイスする。

知らない人に声をかけられたときは、拒絶の意志を示してその場を離れること。「急いでいるから」という言葉はどんな場面でも活用できるお薦めの言葉。さらに危険を感じたら、「助け



(左から) 警備業協会講師・木村裕也さん、東北福祉大学地域安心安全ボランティアTeam ZERO松元直さん、宮野遊太さん

一般社団法人宮城県警備業協会は学校・幼稚園や企業に出向き、護身指導員による「護身教室」を無料開催している。詳細はWEBサイトで確認を。

泉区天神沢1-4-11
TEL 022-371-0310

ポイント

- 人通りが少ない、周囲から見えなくなる物陰といった場所に行かない
- 知らない人は目を合わせず、距離を取る
- 怖い、危ないと思ったら声を上げて逃げる。変なことがあったら家族や大人に知らせる

怖くて声が出ない場合は、防犯ブザーやホイッスルが有効。定期的に動作をチェックし、普段から鳴らす・止める練習をしておく安心だ。

「とっさに動くためには、日頃の『練習』がとても大事になります。護身術と合わせて、ぜひ家族で練習してみてください!」(木村さん)。



万が一の護身術

護身術はあくまで最後の手段だが、万が一のために、手首をつかまれた場合の振り払い方を紹介する。何度か練習してみよう。



ランドセルは放ってOK

ランドセルをつかまれたら置いて逃げる。中に入っている勉強道具は買い直せるが、命は買い直せない。とにかく逃げて!

